

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		令和8年度第1回福津市防災会議
開催日時		令和8年8月21日（金）午後3時00分～
開催場所		福津市役所別館1階 大ホール
委員名		会 長 福井崇郎 出席委員 佐藤元気、北野 真市、石津 輝昭 宮城 譲、中村 一枝、野中 博文 岡田 和憲、本多 研介、吉崎和哉 谷口 由貴、花田 積、平田 健三 大庭 武志、高山 康和、水上雅史 宮原 栄介、中村 雅美、薄俊哉 水上 雅博、坪根 昌弘、石橋 忠信 欠席委員 中村 智弘、岡将平、井手 和子 池浦 英明、岡本 颯和、幣旗 伸一郎 代理出席 前田幸輝、碓将治、東陽子 渡辺明子、石橋和義
所管課職員職氏名		危機管理課 課長 高山大樹 主幹兼安心安全まちづくり係長 吉田亜矢 危機管理係長 佐々木英司 主事 迫鳥翼
会 議	議 題 (内 容)	説明1 福津市防災会議について 議題1 福津市国土強靱化地域計画の改定について 議題2 福津市備蓄計画の修正について 議題3 福津市避難計画の修正について その他 次回の防災会議について
	公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	0名
	資料の名称	・次第 ・委員名簿 ・福津市防災会議について ・福岡県地震に関する防災アセスメント調査に関する資料 ・資料1「福津市強靱化地域計画の改定について」 ・資料2「福津市備蓄計画の修正について」 ・資料3「福津市避難計画の修正について」
会議録の作成方針		☐ 録音テープを使用した全文記録 ☒ 録音テープを使用した要点記録 ☐ 要点記録 記録内容の確認方法

その他の必要事項	
審議内容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）	
○会長あいさつ ○委員自己紹介 ○説明 1 福津市防災会議について 事務局より説明 質疑なし ○議題 1 福津市国土強靱化地域計画について 事務局から資料1に基づき説明 委員：資料の4ページの④において、避難所として活用される学校施設等に関する記載の中にトイレやバリアフリーについての記載はあるが、この中にエアコンは含まれるのか。 事務局：エアコンも含まれる。 委員：明示しておいた方が良いのではないか。 事務局：検討する。 委員：資料の18ページの地震災害について、地震発生時の津波の高さが最高4mとなっているが、福津市の海岸線は平らな所が多い。地震発生から8分でどこに避難をすればよいのか。高齢者の中にはそうなった場合の避難を諦める声も出ている。そのような方達の近くの避難場所として近隣のマンションを使えと良い。 その後、質疑なし。 2 福津市備蓄計画の修正について 事務局から資料2に基づき説明 委員：資料14ページの整備(購入)計画について、現在不足している物については令和9年度にすべて購入するという認識で良いのか？ 事務局：現在、不足分については令和9年度にすべて満たせるように検討をしている。 その後、質疑なし。	

3 福津市避難計画の修正について 事務局から資料3に基づき説明

委員：資料中 6-4 の避難誘導について、西山断層に起因する地震が起きた場合、地震発生から津波到達まで 8 分しかない。その 8 分の中で消防本部、警察、消防団等が避難誘導を行うのは不可能であり、この文言は修正を検討していただきたい。

事務局：この計画は西山断層で発生した地震にだけ焦点を当てたものではない。仮に西山断層で発生した地震のように避難の猶予がほとんどない場合は、資料中 6-1 の基本方針によるところとなる。6-4 の避難誘導等については、安全確保がされている、あるいは津波到達まで猶予がある場合、消防本部、警察、消防団等が避難誘導を行うべきだと考え、このような文言にしたが、避難誘導従事者の安全確保等に関する記載をするなど文言を修正する事を検討したい。

委員：資料中 6-6 の緊急避難場所について、かまどベンチなど、避難後に使用できる設備が備えられている施設が設定されていないのはどういうことか。

事務局：ここに記載されている緊急避難場所については、津波から一時的に逃れるための場所として記載している。津波から逃れた後は、地震に関する避難計画に基づき安全性を確保したうえで各避難所を開設し、避難者を収容していく。

委員：有事の際に使える設備がある施設を知らない人がたくさんいるので、周知するとともに体験してもらう必要があると思う。

事務局：計画に盛り込む、または他の方法で市民に周知することを検討する。

委員：避難誘導に関して、要支援者の避難について課題がある。多くの地域で要支援者を対象とした避難訓練はできていない。個人情報に関係もあり、どこに要支援者がいるのかを地域住民が全く分からないということもある。自治会の組長に働いてもらって、要支援者がどこにいるのかリストアップして、誰が支援をするのかも全て決めなければスムーズな避難はできない。

その後、質疑なし。

○その他 次回の防災会議について
事務局より説明。

質疑なし。